

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉高2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ベイシア新座店	階数	地上2F
建設地	埼玉県新座市	構造	S造
用途地域	工業地域、準工業地域/準防火地域	平均居住人員	5,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2018年3月30日
敷地面積	9,730 m ²	作成者	伊藤建築設計事務所
建築面積	5,454 m ²	確認日	2018年3月30日
延床面積	5,444 m ²	確認者	伊藤建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	階高を高く設定し、構造は鉄骨ラーメン構造を採用することにより、将来の変更にしやすい計画とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	特になし	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に歩道状空気を計画し周辺の歩行者環境に貢献している。
LR1 エネルギー	照明はすべてLEDとし、照明負荷を軽減している。空調機は高効率の機器を使用している。	LR3 敷地外環境 特になし
Q2 サービス性能	特になし	
LR2 資源・マテリアル	鉄骨造を採用することで、将来の外壁更新などを行いやすくしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
ベイシア新座店**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40	-	-	2.7
1 音環境		2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.50	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	
1 昼光率		-	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	3.0	-	
3.3 照度		-	-	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境		2.6	0.25	-	-	2.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	
4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.3
1 機能性		3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法認定	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	売場の天井高さを3.99mとした	5.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画		3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	適切な規模の清掃員控え室を計画	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高を5.50m確保し、維持管理がしやすい計画としている		5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満(純ラーメン構造の耐震壁無し)		5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	[BPI][BPIm] = 0.96		4.9	0.20	-	-	4.9
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.69		5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率 = 72%		4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な駐車設備を計画している		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要


建物名称	ベシア新座店	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	--------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
4.1	+	1.6	=	5.7 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.1
<配慮した内容を記述> 照明器具はすべてLEDとすることで省エネルギー性に配慮した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述> 緑地を出来る限り計画し、周辺環境に配慮した。			

 : 入力欄